

目次

提言の要約	・・・	1
1 はじめに	・・・	2
2 K市の住民自治の現状と課題	・・・	2
(1) K市の変遷	・・・	2
(2) 社会現象面からの課題分析	・・・	2
①ライフスタイルの変化による課題	・・・	2
②人口構成の変化による課題	・・・	3
(3) 組織体系面からの課題分析	・・・	3
①K市における住民活動区域の決めり方	・・・	3
②K市における住民活動団体と支援体制	・・・	4
ア) 単位自治会	・・・	4
イ) 公民館を拠点とした活動団体	・・・	4
ウ) 市民ボランティアとNPO	・・・	5
(4) 行政運営面からの課題分析	・・・	6
(5) 山口国体から得た住民活動のヒント	・・・	6
3 住民自治協議会・地域担当職員制度導入についての考察	・・・	7
(1) 新しい住民自治組織の必要性	・・・	7
(2) 地域担当職員制度の導入について	・・・	7
(3) 自治大学校でのアンケート結果	・・・	7
4 K市にふさわしい施策の在り方	・・・	9
5 住民自治をよみがえらせる工夫	・・・	9
施策1 地域活動マッチング制度	・・・	9
～実施事業で地域協議会への交付金をプラスします！～		
施策2 地域担当職員ドラフト制度	・・・	11
～お好きな職員をご指名できます！～		
施策3 情報ぐるりん作戦	・・・	13
～情報ぐるりんでやる気に花を咲かせましょう！～		
6 おわりに	・・・	14

よみがえれ住民自治！

～今後の行政と住民自治組織の理想の関係を探る～

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会現象として、少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの多様化等が進展し住民自治活動の衰退が進むとともに、今後更に希薄化すると見込まれる。 ◆行政においては、情報伝達の不十分さ、職員の意識の低下、行財政改革による財政・人員不足が生じ、住民自治活動への支援が困難になっている。
----------------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民自治組織の運営改善が遅れている「K市」において、各市町村の取組を参考に、将来に渡り住民が自主的に楽しみながら活動できる制度を確立する。
----------------	--

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の見直し ・活動組織の見直し ・行政担当部署の一元化 ・助成金配分の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の充実 ・職員の意識改革 ・行政と地域の絆作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・やる気の醸成 ・未加入者への啓発 ・双方向の情報伝達
----------------	---	--	---

提 言	提 言 1	提 言 2	提 言 3
	地域協議会を設置し 地域の特性を活かした 自主的な活動を！	お好きな地域担当職員と 地域の自立を目指し ましょう！	情報をぐるぐる回して やる気に花を咲かせ ましょう！

魔法の一滴（先進地の課題分析）でこんなに楽しくなります！

施 策	1	2	3
	地域活動マッチング制度	地域担当職員ドラフト制度	情報ぐるりん作戦
	<ul style="list-style-type: none"> ・活動項目を基本と付加に分類 ・地域に合った活動を選択可能 ・活動量に応じ交付金がアップ ・模範事例は市長表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が地域担当職員を指名 ・公民館職員と入れ替え配属 ・地域在住職員のフォロー体制 ・地域の自立で職員を引き揚げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙に協議会コーナーを新設 ・広報原稿は協議会が自由に作成 ・地域の声をフィードバック可能 ・映像コンテストで一致団結

将来は...地域協議会が自主的に市民の日を定め合同でイベントを開催

目指せ！K市の日！

地域協議会活動が順調に行われるようになったら、市制施行日の11月3日を「K市の日」と名付け、市内全域の地域協議会による合同イベントを開催する。

イベントの計画・運営は協議会が行い、行政は、K市PRクイズ大会等、世代を超えて楽しめるブースで参画する。